

当院で診療を受けられた患者さん・ご家族様へ
臨床研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しています。この研究では、普段の診療で得られた情報を使用させていただくものです。この研究のために、新たに診察や検査などを行うことはありません。以下の情報を研究に用いられたいとお考えの患者さんまたはご家族の方は、遠慮なくお申し出ください。お申し出いただいた患者さんの情報は使用いたしません。また、研究への参加にご協力いただけない場合でも、患者さんに不利益が生じることは一切ありません。

薬剤抵抗性焦点てんかんに対する ANT-DBS の治療効果に関する検討

1. 対象となる患者さん

2024 年 9 月～2027 年 12 月の間に当院で ANT-DBS を受けられた薬剤抵抗性焦点てんかんの患者さん

2. 研究責任者

奈良県立医科大学附属病院 脳神経外科 佐々木 亮太

3. 研究の目的と意義

目的：薬剤抵抗性焦点てんかんに対して ANT-DBS を施行した症例で、それぞれの症例の特徴と治療効果との関連性を検討します。

意義：ANT-DBS の有効な症例や長期経過などは未だ不明な点も多いのが現状です。今回の検討により、どのような特徴を持った症例に ANT-DBS が効果的なのかを同定する事で、今後の薬剤抵抗性てんかんの外科治療方針決定に関して、一助となる見込みです。

4. 研究の方法

2024 年 9 月～2027 年 12 月の間に当院で薬剤抵抗性焦点てんかんに対して ANT-DBS を施行した患者様について、患者様の臨床症状、各種検査結果などを解析し、治療結果、発作転機を検討します。本研究は奈良県立医科大学 医の倫理審査委員会による承認、および学長による許可を得て実施する研究であります。

5. 使用する情報

2024 年 9 月～2027 年 12 月の間に当院で ANT-DBS を施行した薬剤抵抗性焦点てんかんの患者さんの術前術後の臨床症状（年齢、性別、治療前発作頻度、治療後発作頻度、てんかん発作の症状、抗てんかん治療薬の種類・投与量、手術合併症の有無、最終フォローアップ時における発作転機）、血液検査結果、脳波検査結果、MRI・PET などの画像検査結果、電極留置位置の座標、などについて情報を収集します。

6. 情報の管理責任者

奈良県立医科大学 学長

7. 研究期間

研究機関長の実施許可日～2030 年 3 月 31 日

8. 個人情報の取り扱い

対象となる患者さんの個人情報は厳重に管理し、利用する情報等からはお名前や住所等、個人を特定できる情報は削除し、研究番号に置き換えて使用します。また、研究成果を学会や学術誌等で公表する際も個人を特定する情報は公表しません。

9. お問い合わせ先

奈良県立医科大学附属病院 脳神経外科 佐々木 亮太

住所：奈良県橿原市四条町 840 番地

電話：0744-22-3051

e-mail：161911@naramed-u.ac.jp